

多様な教科・領域における活用型学力の育成

～児童のICT活用に関する場面集の作成～

学校名	守口市立橋波小学校 校内研究部
所在地	〒570-0033 大阪府守口市大宮通1丁目14番9号
学級数	18
児童・生徒数	504名
職員数／会員数	26名
学校長	尾塚 理恵子
研究代表者	松浦 智史
ホームページ アドレス	http://www.moriguchi-osk.ed.jp/hashiba_es/



1. はじめに

新しい指導要領では、教育の理念を踏まえ、児童に生きる力をはぐくみ、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する中で、思考力・表現力・判断力等の能力を育成するとなっている。

つまり、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に修得させることが第一に必要とされるが、同時に、行動に生かせる思考力や判断力が重要視され、またそれを人に伝達する表現力を養うことが大切だというのである。そのためには、観察・実験、レポートの作成、論述などの学習活動を発達の段階に応じて充実させる必要が出てくる。

しかし、これらの能力をバランスよく育成させることは、従来の授業形態だけでは難しい。そこで、ICT機器を活用し、授業スタイルを充実させることが必要になっているのではと考える。その理由は、①児童にとって興味を惹く内容を提示できる。②児童の確実な習得のために教師が、わかりやすく教えられる。③児童が習熟させるために楽しく繰り返せる。④活用型の学習活動における児童の道具としてのICTを活用できるからである。

日常の学習活動の中で、効果的にICTを取り入れることで、習得型の授業と活用型の授業のバランスを取りたいと考えている。また、発展的に探究型の授業ができれば、子どもたちの学力も向上するものと考えている。

2. 研究の目的

平成21年度の研究では、教員の授業力アップ↑のための

ICT活用プロジェクトとして、多様な教科・領域における日常的なICT活用を実践してきた。職員のICT活用の成果としては、昨年度（平成20年度）に行った「教員のICT活用指導力状況」の調査で、「B授業中にICTを活用する能力」＝27.4%だったのが、平成21年度の調査結果では、78.4%と飛躍的に伸びたことが挙げられる。それは本校職員のICT活用に対する不安などがなくなりICTの有効性も充分に感じられてきた結果であると思われる。さらにICT活用を通じた授業面での成果としては、主に小さいサイズの教材を大きく映すことに重きを置いた実践、総合的な学習の時間では、干潟で撮ったデジタルカメラの写真からインターネットを使って調べパワーポイントで報告する実践、体育の学習では、インターネットの動画を活動のモデルにすることで体の動きを意識して判断する実践などが挙げられる。

平成23年度から実施される新しい学習指導要領では、活用型学習の教育が重視されている。そこで本校のICT活用実践を「習得型学習」・「活用型学習」と類別して割合を出してみると、それぞれ63%・37%となった。また、児童の実態としては、全国学力・学習状況調査において全国平均を上回っているものの、知識及び技能を活用した思考力・判断力・表現力などの活用型学力の定着は十分ではないと考える。その理由は、ICT活用の基礎的効果（小さなサイズの教材を大きく映す）に依存している点が多いため、思考力・判断力・表現力を重視する活用型学力を伸ばす段階には、至っていないことが原因であると考えている。実際、児童の活用型学力を高める指導は難しく、どの教員も困っているのが現状であるが、本校の一部の教員は、そのノウハウを有しているので、多様な教科・領域における児童のICT活用のアイディアを出し合

い、共有していくことが大切だと考える。

そこで今年の研究では、①多様な教科・領域における児童のICTを活用した活用型学習の指導方法の工夫 ②「活用型学習」の指導方法を示した場面集の作成を研究課題に据えることにした。

平成22年度から本校は、高学年の全クラスに電子黒板が導入され、低・中学年でも大型テレビの導入が計画されている。校内のICT環境が整備されつつある中で、今後は、児童のICT活用を通して育てる活用型学力の重要性がより問われることになるため、指導方法の工夫は不可欠となる。またその場面集を作成することで、教員が、苦手だと感じている教科・領域でもICT活用を通して、活用型学習を指導することが可能になり、また、児童のICT活用を通して育てる活用型学習を継続的に発展的に推進することになるのである。

3. 研究の方法

①教科部会を機能させる

本校では、昨年に引き続き、研究教科がなく研究テーマのみが存在している。そのため、多様な教科・領域において、児童がICTを活用した活用型学習の指導方法の工夫を行うために、教科部会をしっかりと機能させることにした。全教員が教科部会に所属するため、必ずICTを活用した授業を行うことにした。

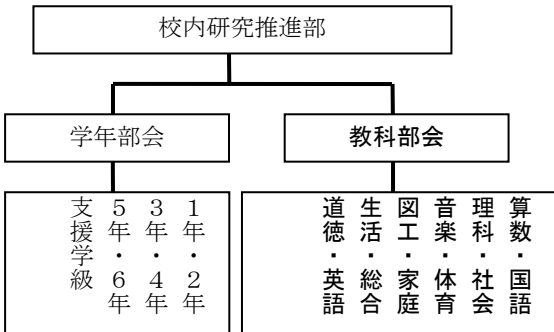


図1 校内研究推進部の組織

②協議会の持ち方

本校では、研究授業後の討議会をグループ討議で実施している。グループ討議をすることで、様々な世代や学年からの意見や考えを議論に反映できるようになった。そして、このグループ討議では、授業に関して、「成果」と「課題」に分けて分析することにした。グループ討議では、授業の「課題」がどのようにしたら良くなるかを考えることにした。そして、改善プランとして再提案する内容で進めた。

③全教科・領域での実践報告会を学期毎に実施する

各学期に、教科部会（9教科+道徳・総合・英語）から1本の実践と学年の実践を報告し合った。これによって、様々な場面での実践を共有することが可能になった。11月の実践報告会では、全員によるポスターセッションを実施した。他校からの参加者と様々な意見交流をする場となった。

④年間7回の研究授業を実施する

1年～6年・支援学級まで、それぞれの学年で研究授業を実施する。また、11月には、守口市内の小中学校に向けて3クラス同時に公開授業を行ったが、これは、外部からの評価を得た。

⑤場面集としてまとめる

これらの実践を、その単元の流れ、目標（ねらい）、授業の様子（写真）、ICT活用のポイントなどを載せた冊子にする。これらの冊子は、市内の小中学校へ配布した。



4. 研究の内容

下図は、今年度作成した場面集の目次である。当初の予定では、48実践を考えていたが、支援学級や、1年生などから追加実践を加えたので、全部で52実践を載せることになった。



教科部	学年部	研究授業
1. 算数・国語	1. 算数・国語	1. 算数・国語
2. 算数・国語	2. 算数・国語	2. 算数・国語
3. 算数・国語	3. 算数・国語	3. 算数・国語
4. 算数・国語	4. 算数・国語	4. 算数・国語
5. 算数・国語	5. 算数・国語	5. 算数・国語
6. 算数・国語	6. 算数・国語	6. 算数・国語
7. 算数・国語	7. 算数・国語	7. 算数・国語
8. 算数・国語	8. 算数・国語	8. 算数・国語
9. 算数・国語	9. 算数・国語	9. 算数・国語
10. 算数・国語	10. 算数・国語	10. 算数・国語
11. 算数・国語	11. 算数・国語	11. 算数・国語
12. 算数・国語	12. 算数・国語	12. 算数・国語
13. 算数・国語	13. 算数・国語	13. 算数・国語
14. 算数・国語	14. 算数・国語	14. 算数・国語
15. 算数・国語	15. 算数・国語	15. 算数・国語
16. 算数・国語	16. 算数・国語	16. 算数・国語
17. 算数・国語	17. 算数・国語	17. 算数・国語
18. 算数・国語	18. 算数・国語	18. 算数・国語
19. 算数・国語	19. 算数・国語	19. 算数・国語
20. 算数・国語	20. 算数・国語	20. 算数・国語
21. 算数・国語	21. 算数・国語	21. 算数・国語
22. 算数・国語	22. 算数・国語	22. 算数・国語
23. 算数・国語	23. 算数・国語	23. 算数・国語
24. 算数・国語	24. 算数・国語	24. 算数・国語
25. 算数・国語	25. 算数・国語	25. 算数・国語
26. 算数・国語	26. 算数・国語	26. 算数・国語
27. 算数・国語	27. 算数・国語	27. 算数・国語
28. 算数・国語	28. 算数・国語	28. 算数・国語
29. 算数・国語	29. 算数・国語	29. 算数・国語
30. 算数・国語	30. 算数・国語	30. 算数・国語
31. 算数・国語	31. 算数・国語	31. 算数・国語
32. 算数・国語	32. 算数・国語	32. 算数・国語
33. 算数・国語	33. 算数・国語	33. 算数・国語
34. 算数・国語	34. 算数・国語	34. 算数・国語
35. 算数・国語	35. 算数・国語	35. 算数・国語
36. 算数・国語	36. 算数・国語	36. 算数・国語
37. 算数・国語	37. 算数・国語	37. 算数・国語
38. 算数・国語	38. 算数・国語	38. 算数・国語
39. 算数・国語	39. 算数・国語	39. 算数・国語
40. 算数・国語	40. 算数・国語	40. 算数・国語
41. 算数・国語	41. 算数・国語	41. 算数・国語
42. 算数・国語	42. 算数・国語	42. 算数・国語
43. 算数・国語	43. 算数・国語	43. 算数・国語
44. 算数・国語	44. 算数・国語	44. 算数・国語
45. 算数・国語	45. 算数・国語	45. 算数・国語
46. 算数・国語	46. 算数・国語	46. 算数・国語
47. 算数・国語	47. 算数・国語	47. 算数・国語
48. 算数・国語	48. 算数・国語	48. 算数・国語
49. 算数・国語	49. 算数・国語	49. 算数・国語
50. 算数・国語	50. 算数・国語	50. 算数・国語
51. 算数・国語	51. 算数・国語	51. 算数・国語
52. 算数・国語	52. 算数・国語	52. 算数・国語

[学校教育全体における本研究の意義]

全教員が、それぞれ担当する教科部会の中で学習内容とICT活用のポイントを相談して、学期に1回ずつ報告書に記入してもらった。つまり、一部のICT活用が得意な教員だけが実践をするのではなく、ICT活用を苦手とする教員や全く活用したことがない教員も含めて、全教員がICTを活用した授業を実践した。

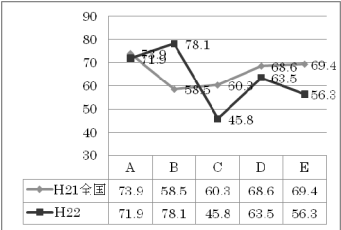
5. 研究の経過

1 学期	5 月	研究授業 6 年（国語）
	6 月	研究授業 6 年（算数） 支援学級研究授業
	7 月	研究授業 4 年（算数）
	8 月	活用型学力の中間報告会①（全教科・領域＋2 学年） 守口市教育フォーラム（実践報告）
2 学期	10 月	研究授業 5 年（人権）
	11 月	研究授業 1 年（国語）・3 年（体育）・6 年（国語） 3 クラス同時公開 活用型学力の中間報告会②（全教科・領域＋2 学年）
	12 月	研究授業 2 年（音楽）
3 学期	2 月	活用型学力の最終報告会（全教科・領域＋2 学年）
	3 月	成果と課題

6. 研究の成果と今後の課題

活用型学習を行うことで、児童に考える力や表現する力が、少しずつではあるが、身についてきた。一方で、児童がICT活用を行った活用型学習はまだまだ難しいのが現状である。

右のグラフは、「教員のICT活用指導力調査」である。平成21年の全国平均（青）と平成22年度末の本校（赤）を比較したものであるが、Cの項目（児童のICT活用を指導する能力）が顕著に低いのがわかる。



これは、低学年では電子黒板が整備されていないため、大きく映した画面に児童が書きこんだり消したりすることができない上に、児童一人ひとりが自由に使えるICT機器がないため、児童がICTを活用して試行錯誤しながら問題を解決するような状況ではないのではと考えられる。

次年度は、学校に多数のタブレットPCが導入されるので、今後は、Cの項目（児童のICT活用を指導する能力）やEの項目（校務にICTを活用する能力）を高め、ICTに関する教員の能力向上を図り、児童の学力向上を目指していきたいと考えている。

参考文献

中央教育審議会答申

「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善について」